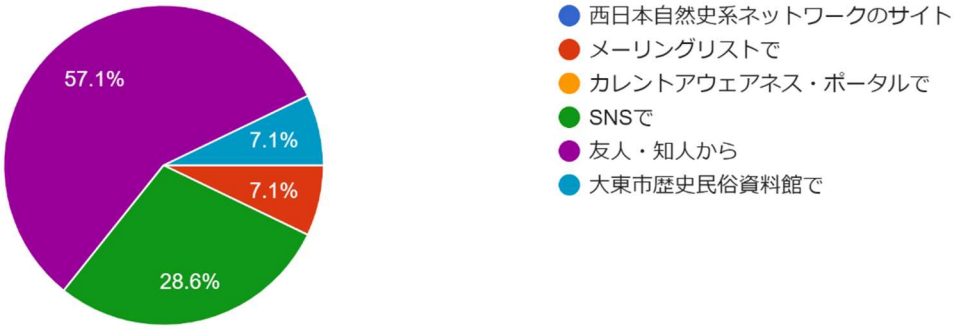
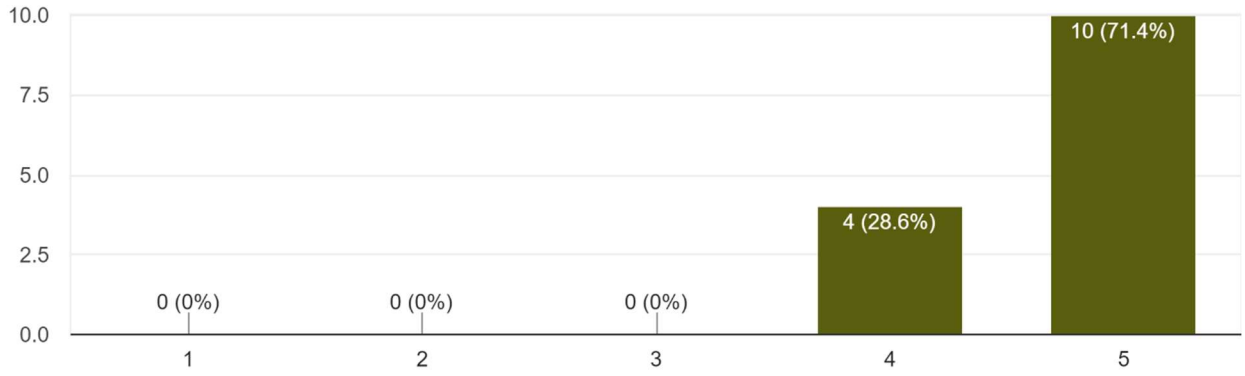
9/7 水損資料レスキュー講習会　参加者アンケート　（参加者 20 名／N＝14）

講習会を知ったきっかけを教えてください。
14 件の回答



講習会にはどのくらい満足されましたか。
14 件の回答



講師の松下さんにご質問があればお書きください。

・この分野は兵庫県と大阪府とは温度差があるように思います。
・新聞をデジタルで読んでいますが、スクウェルチ方で使用する新聞紙が入手できず代替する必要がある場合、何が利用できますか。
・古文書の復旧、修理がとても気になります
・水損した古文書の中でも、継がれて巻物上になっているものや、掛け軸や屏風、衝立などはどのように保全すればよいのでしょうか。初動措置について教えていただければ幸いです。
・トリアージして冷凍された水濡れ資料は、処理する際は冷凍されたままスウェルチ・パッキング法を行うのでしょうか。解凍作業を行ったりするのでしょうか。
・民間の資料を行っていく、とのことでしたが、冊子類以外にも、一般宅にも掛け軸などを所持している家庭は多いと思います。軸は素材も紙以外に絹や木材、布類などもあるとおもいますが、

スクウェルチ法を使用していいのでしょうか。圧力がかかる関係上、冊子類以外は使いづらいと思うのですが、どのような形状までなら使用可能なのでしょうか。
また、顔料が使用されている物のスクウェルチ法は通常通りでいいのでしょうか。顔料の剥離などが行われるのかどうかが気になります。よろしくお願いいたします。

・文書資料や民俗資料のレスキュー活動のために、どの程度の資料を備蓄しておくと良いと思われますか。
・緊急時に被災した地域で手に入りにくくなる資材などはありますか。遠方から送られてくると助かるものなど。
・冷凍が良いとのことですが、冷凍から出した後ツユが付いてしまうと思いますが、カビてしまわないのでしょうか。
・フリーズドライの機会は、写真などの１枚ものであればドライフルーツを作る機会でも代用できますか？
・無水エタノールより、消毒用エタノールの方がよいとのことですが、精製水で割って使う方法でも大丈夫でしょうか？
・資料に給水紙を挟むと、綴じ目が折れたりすると思いますが、解体せずにする場合はどのような工夫をされていますか？
・スクウェルチのやり方で数枚ずつ挟むことがありますが、くっついてしまったまま乾燥してバラせなくなることはないですか？

講師の溝辺さんにご質問があればお書きください。

・奄美のだんじり事業に関わることになったきっかけが知りたいです。

講師の佐久間さんにご質問があればお書きください。

・植物標本は、書籍、紙媒体と同じ扱いでレスキュー出来るんですか？貼っけたままで？種子や、付録のものまでのレスキューは難しいですよね
・植物標本と昆虫標本も水害に合うと水洗いや消毒をし乾燥させるのでしょうか。

今回の資料「水損資料応急処置マニュアル」および「スクウェルチ・パッキング法」のデータはどなたでもご自由にお使いいただけます。こんな場面で使用したい、回覧したいなどのアイデアがあればぜひお聞かせください。

・ボランティア
・私の勤める資料館に来てくれている文化財調査ボランティア「西宮歴史調査団」の団員さんへの文化財講座などで、使用できたらいいなと思っています。当館のボランティアは、未指定や未周知の文化財を調査するボランティアさんですので、今回の講習会の内容をお伝えする機会を設けることができればと思っています。地域のことを一番知っているのは、地元にお住まいの方であり、も

し災害が発生した際にどこになにがあるかということを手分けしてご協力いただける存在でもあるため、今回の資料を使用した講座ができればと思っています。
・自館のスタッフ研修に役立てればと思います
・職場の館の方で回覧・共有したいです
・自館スタッフの研修で使えればいいなと思いました。自館は池の上にあり、水損のリスクがかなり高いかと思います。利用者からの返却資料での水濡れ対策としても今回のやり方を応用出来ると思います
・簡単な道具でできるため、個人的な書籍などの水損にも使っていきたい。

講習会、実習を通しての感想があればご自由にお書きください。

・地元資料（特に古文書）は消滅の危機にあります。世界遺産にはじまり日本遺産、指定文化財などが資料の格付けを促進させている今、指定されていない個人蔵の資料は世代交代も相まって危機になっています。
ここに目を向ける学校教育が必要かと思います。レスキューする前にレスキューするものがなくなってしまう。ふと考えます。
・本日は誠にありがとうございました。大変有意義な時間を過ごすことができました。私自身が大変勉強になった内容であったことはもちろんのこと、職場やボランティアさんにもお伝えしたい内容でした。それに加え、今自館で対策できることを考えなければならないとも思いました。今後も実施される際には、また職場でもお声がけさせていただき、参加させていただきたいと思います。
・これで、水損レスキューボランティアに参加出来る！救命士認定された！
レスキューボランティアが必要とされる情報はどうやって入手すればいいんでしょうか？
人手が必要な時はぜひお声掛けください。本日はありがとうございました。
・このような機会を設けて下さりありがとうございました。もっと勉強して、いざという時に役に立てるよう頑張ります！
・私は古文書を扱う仕事をしているので、民俗や自然史の資料レスキューについてのお話が聞けてとても興味深かったです。どうもありがとうございました。
・救命士に認定されましたので^_^、レスキューボランティア必要な時はぜひお声掛けください。
講習会、実習共に面白かったですが、それぞれが時間が足らず講師の方、受講者共にもっと時間が有ればと思われたのでは。
・体育館を使って、より多くの方にこういった活動(古文書、民俗、自然など)があることの PR や体験をして貰うイベントが出来たら面白いですね。多目的室では今回のような講習会も行って。
・文化財レスキューという活動があることは前から知っていましたが、いざ災害が起こったときに自分がどう動けばよいか、知識が全くない状態でした。この講習会を通じて基礎的な事項と実際の手順を知ることができました。講習を開催していただきありがとうございました。
・とても良い経験と勉強ができました。ありがとうございました。
・水損レスキューの現状などについて、詳しく知ることが出来ました。現在は学生ですが、学芸員

を目指しているため役立てていきたいと思います。ありがとうございました。

・自分の住んでいる地域で、もし水害が発生してしまったら、今回学んだことを活かして積極的に動きたいです。今回このような勉強の機会を設けて下さり、ありがとうございます。感謝に堪えません。

・この講習を機に、素材や保存科学についてさらに勉強し、いざという時に適切な判断ができる人間になりたいと思いました。